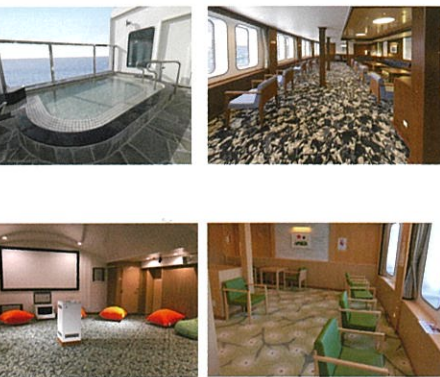


# 港を利用する主な船舶（貨物）

## 長距離フェリー（東京九州フェリー）

利用施設 新港1号・2号岸壁 延長400m(水深-10.0m)



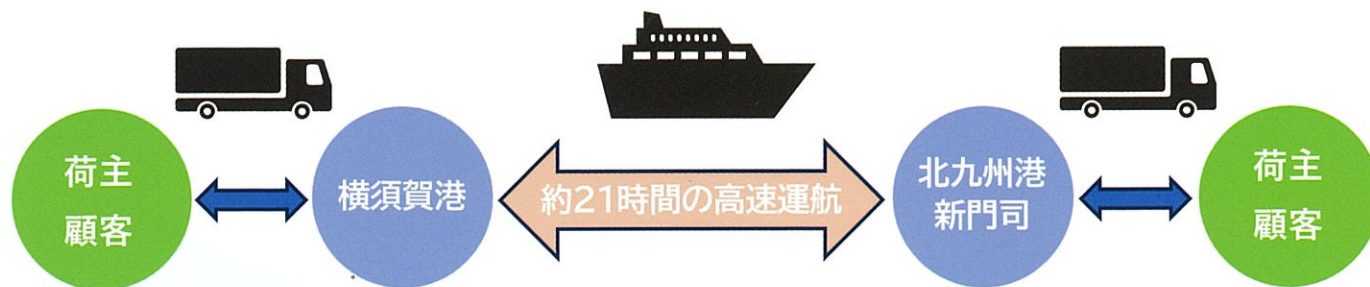
### 〈運航ダイヤ・スケジュール〉

- ・週6便（日曜・祝日運休）
- ・横須賀 23:45 発 ⇒ 北九州 翌日 21:00 着
- ・北九州 23:55 発 ⇒ 横須賀 翌日 20:45 着

### 〈船舶概要〉

- ・船名 はまゆう／それいゆ（2隻体制）
- ・全長 222.5m
- ・総トン数 15,515トン
- ・航海速度 28.3ノット
- ・旅客定員 268名

## 〈フェリー利用のメリット〉



- ▶ リードタイム … 宅配便の九州地区への3日後配達が可能
- ▶ ドライバー不足対策 … シャーシによる無人航送  
有人トラックはフェリー特例（改善基準告示）による乗船時間の休息
- ▶ CO<sub>2</sub> 排出量を大幅に削減 … エネルギー消費（1トン1km）はトラックの約1/5

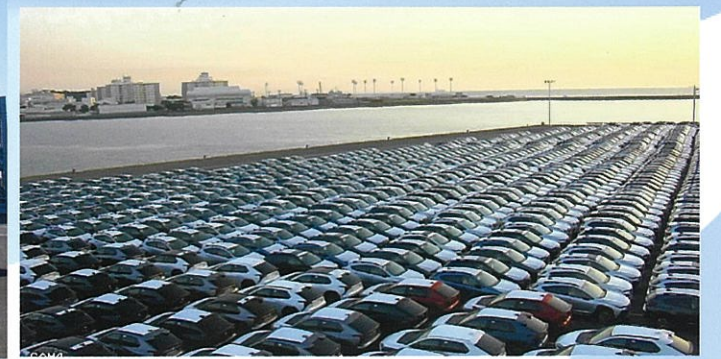


## PCC（自動車専用船）

利用施設 新港1号・2号岸壁 延長400m(水深-10.0m)



新港地区では、完成自動車の輸出が行われており、横須賀港を出港したPCCは他港に寄港しながら、主に北米に向かいます。



## マグロ船

利用施設 新港2号岸壁 延長200m(水深-10.0m)  
新港3号岸壁 延長130m(水深-7.5m)  
久里浜1号岸壁 延長260m(水深-7.5~9.0m)

横須賀港は冷凍マグロの輸入基地となっています。世界各地で漁獲されたマグロが、運搬船によって運ばれてきます。また、養殖マグロを加工から凍結まで行う加工凍結船での輸入も行われています。



## 専用岸壁

### 追浜地区

日産自動車㈱のほか住友重機械工業㈱が、貨物を取り扱う専用の港湾施設を所有しています。

日産自動車㈱の専用埠頭では、完成自動車のほか、自動車関連部品の移出入が行われ、貨物取扱量は横須賀港全体の約3割になります。

利用施設 日産1・2号岸壁 延長435m(水深-12.0m)  
日産3・4号岸壁 延長260m(水深-7.5~-10.0m)  
管理者 日産自動車㈱



### 久里浜地区

㈱JERAの貨物を取り扱う専用の港湾施設になります。発電所の燃料となる石炭の移入のほか、焼却後の石炭灰が輸移入されています。貨物取扱量は横須賀港全体の約2割になります。

利用施設 JERA C岸壁 延長416m(水深-9.0m)  
JERA D岸壁 延長282m(水深-11.5m)  
管理者 JERA パワー横須賀合同会社

